

釧路南ロータリークラブ会報

第11回 例会報告 2007.9.21 通算1222回

・点 鐘

佐野会長

・ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー 長江 勉会員



・お客様と来訪ロータリアンの紹介

厚岸ロータリークラブ 内海 秀之助会員

・誕 生 祝

工藤 ゆかり会員 S32.9.23 (50歳)



・会長挨拶

GSE 訪問団も無事に終わり、17日の月曜日に北見に向けて元気に出発したようで、まずは一安心しておりますがホストファミリーを受けて頂いた北上会員、大変ありがとうございました。又、地区 GSE 委員会、船戸委員長・福井委員・花田委員いろいろ同行して頂いた、長倉幹事・木内会員・高橋会員大変ご苦労様でした。次週のプログラムゲスト講話ですが、以前南クラブの会員でした高橋陽子会員の会社の高橋社長に来て頂くことになりました。お話の内容は、使用済自動車の処理・リサイクルについての、お話をさせていただきます。次週は多数の例会出席をお願い致します。

・幹事報告

- * 新入会員の菅井さんの入会が会員より承認されました。来週の例会が入会式となります。スポンサーの山本会員より簡単な紹介をお願い致します。
- * 本日、例会終了後、理事会を開催いたします。
- * 9月10日より来釧されておりましたGSE訪問団が17日に無事に北見へ向かいました。ホストファミリーの北上さんをはじめ、ご協力いただきました会員の皆様、有り難うございました。
- * 来月、5日より北見で地区大会が開催されます。6日の宿泊先はおさえておりますが、スケジュールに関しましては追ってご連絡致します。参加予定者は下記の通りです。急遽、予定が付かなくなった方、もしくは、急遽行ける方がおりましたら調整いたしますのでご連絡ください。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

工藤ゆかり会員 誕生祝として
長江 勉会員

出席委員会

会員 16名 出席率 111.1%

●渋谷会員



・本日のプログラム

「新入会員卓話」

担当 クラブ奉仕委員会

●和田会員



私は、このすばらしいロータリークラブを紹介して下さった多田さんに心から感謝しております。すばらしいロータリークラブで、多くの仲間と出会えたことを。

何にもわからない私ですが、皆様に色々とご指導していただいて。自分自身ロータリークラブの一員として恥ずかしくない行動と振舞を取り成長していくたいと思っております。どうかいつまでもよろしくお願い申し上げます。

入会して一ヶ月がたちました。皆様のおかげで、楽しくあつという間の一ヶ月でした。本日は自己紹介を兼ねて現在までの自分の経歴をお話したいと思います。自分は末っ子の長男で、姉が二人います。姉二人はそれぞれ東京と札幌に居ます。小学校は桜ヶ丘小学校で中学は春採中学校です。高校は今は名前が変わりましたが、以前の北高校です。高校時代はあまり上手ではないのですが、3年間バスケットボール部に所属していました。少しでも、背が伸びるかなと思いやっていましたが無理でした。

一応大学受験をしましたが、たいして勉強もしていないのに受かるだろうと言う安易な気持ちで受験して受かる訳無いですよね。当然、落ちました。自分の性格から言って浪人しても遊んじゃうと思ったので、親に無理を言って札幌の専門学校に行かせてもらいました。小さい時から、機械系とかが好きでコンピュータの専門学校に行きました。卒業後、そのまま東京のコンピュータの会社に就職しました。

運送会社の子会社で、みなさまもご存じの黒いネコの子会社に勤めました。子会社と言っても全国で従業員の数が 1,300 人ほどいました。その中で自分は、物流システムと言う課に所属していました。今で言うロジスティクスの分野でシステム開発をしていました。26 歳の時に、父が重い病気をしたのを機に長男なんていづれにしても釧路に帰らないといけないので帰ってきました。帰ってきたのはいいけれども、なかなか釧路でコンピュータ系の仕事がありませんでした。遊んでいてもしようがないので、たまたま縁があって印刷会社に



入社しました。そこでは営業として働きました。それから3年がたち父親が勤めていた会社を辞め、独立すると言う事になり自分も手伝う事になりました。それが、今やっている建築の仕事です。小さい時から、父の姿を見てこの仕事だけはやりたくないなあって思っておりましたが、決められた運命だったのでしょうか。どんな商売でも奥が深いと思いますが、建築の仕事は特にほんとに奥が深く色々覚える事がいっぱいでまだまだ勉強中です。と言うか一生、勉強しなければならないと思います。私の父も、もう71歳なのでこれから小さく商売をやっていてもこの先大変だろうと言う事で、父の弟の所、現在の日向建設にお世話になる事となりました。

●山本会員



新入会員ですので今日はまず私を知っていただく為に、生い立ちを大雑把に、そして現在ママになるまでの事を話したいと思います。私は阿寒町にて生まれ、両親と4歳上の姉と年子の弟の五人家族の中で育ちました。父は残念ながら先月64歳で他界しましたが、阿寒観光ハイヤーの取締役として40年以上勤め上げ、母は阿寒で30年近くスナックを営んでいます。59歳ですがまだ現役、ママ業の大先輩でもあり、私がこの仕事に就いたのも母の影響だったかもしれません。姉は白樺台病院の管理栄養士、弟は阿寒で居酒屋を営んでいます。若いころは田舎が嫌でしたが、今は気候が良くのんびりできる阿寒が大好きです。ここ数年の趣味なのですが、ガーデニングに懲りだしまして、花を育てていると毎日の天気や気温が気になりますし、天気が良く暖かい日のお

花は格別に綺麗にみえるので、釧路に住んでいると阿寒の気候が羨ましくなります。阿寒の高校を卒業してから運輸会社に経理事務員として就職し、21歳で今の主人と結婚し退職しました。現在中学2年生の娘が一人いまして、主人は左官工をしています。

私が初めてスナックでアルバイトをしたのはまだ18歳の頃で、その時は何も考えずわからないままカウンターに立っていて、そんなオネエチャンを気のいいオジサマ達が構ってくれている…そんな感じでした。24歳で「リトルマーメイド」にアルバイトで入り、31歳の時に初代のママが健康上の理由で引退し、最初は当時マネージャーだった子を新ママにして二人で店を引き継ぎました。引き継ぐ際、新ママは当時まだ25歳だったので一緒に引き継ぐ事に不安も抵抗もあったのですが、二人でやるなら大丈夫！という強い後押しと、「リトルマーメイド」を守りたい！という気持ちで引き継ぐ事にしました。ところが新ママは半年もしないうちに結婚したいから辞めたいと言い出し、なんとか引き伸ばしてもらったのですが1年後には引退してしまい結局一人で経営する事になってしまいました。一人になってからは大きな戦力となっていた元ママの力もなくなるのも当然なので、今までの仕事も一層頑張らなければならないのに加え、ママ業もやってみると思ってた以上に大変でしばらくは無我夢中でした。でも有難い事に私がママになってから初代ママの時に一緒に勤めていた子達が戻ってきててくれて、精神的にもとても助けられました。経営者になって最初に感じた事は、人を動かす事の難しさ、そして孤独感でした。同じお店で仲良く働いていたはずの仲間に本音を話す事もできなくなり、言いたくない事まで言わなくてはならなくなつて、経営者なら当たり前の事ですが、それが一番つらかったかもしれません。初代のママは辞める一ヶ月程前まで何の相談もなく、急に話を持ちかけられたので当初は正直無責任な人だ…とも思いました。今思えばその頃の私たちにママの真意は理解しがたく、感謝の気持ちを持つ事すらできなかったのです。これは初代ママが引退する際に私たちに宛てくれた手紙です。今回美穂ちゃんと理恵ちゃんには本当に申し訳あ

りませんが、お手当ては出さない事にしました。今までのお給与(手当)をもらう方だったあなた達は、報酬を頂く事で「ありがとう」と言う立場でした。今度はあげる方で、感謝を持って「ありがとう」と言わなければならない立場になります。従業員としての気持ちが良く分かると思いますので、どうしたらあなた達の大切なお金を出す従業員が「ありがとう」と言って受け取ってくれるか?良く考えて人を使つてください。今も昔も、一軒の店を持つという事は本当に大変な事だと思います。長年コツコツと貯めてきた大切なお金を全部賭けるか?他から借り入れするのに泣きながら駆けずりまわるか?その上保証人に頭を下げまくりとにかく願いに願いを重ね、やつとの思いで開店までこぎつけるものです。キツイ言い方かもしれません、今の二人は何の苦労もなくお客様の名前で売れた店を手に入れることができました。こんな好条件で頑張れないのであれば、今までリトルでホステスとして働いた7,8年は何をしていたのか?と言う事になります。初めにママが提示した数字をしっかりとクリアしてゆく努力さえできれば、成功してお金を手にすることが出来ると思います。これから成功するも「リトル」の名前を泣かすも、二人の努力次第です。ママは二人に人生で最大のチャンスをプレゼントしたという事を分かつてもらえる日が来た時こそ、二人は大きく成長していると思います。その時こそ、こんなダメママが10年間、汗と涙で築いて来た「リトルマーメイド」の本当の成功と、ママ自身の人生の意味が判る時と思っています。皆も喜びママの事も喜ばせてほしいのです。ママの人生を賭けて育ててきた「リトルマーメイド」の名前に恥じないように、二人で力を合わせて頑張って下さい。いつか本当にお互いに感謝の「ありがとう」と言える幸せをつかんで下さい。

吉田厚子

PS つまずいた時は自分を省み、修正する事です。という手紙を頂きました。久しぶりに読み返しましたが、年数を重ねる度に読んだ後の想いが違うようになります。「リトルマーメイド」にはすでに出来上がったイメージが着いていてお客様はそのイメージで来店するので、「お客様の名前で売れた店」は少々扱いづらい面もありました。名前を変えようか、場所を変えようかと悩んだ事もありました。でも結

局私はそのイメージを守りつつも自分らしく変えていく事を無意識に選んだようです。気がつけば「自分の店」かはどうでも良く、「リトルマーメイド」を守りたい、成功させたいという気持ちのほうが強かったのだと思います。今、初代ママには本当に感謝しています。本当の成功は、いつどんなふうに??今はまだ分かりませんが、それが分かったら今度は自分の力で次の夢に向かって行きたいと思っています。



厚岸ロータリークラブ 内海 秀之助会員



DVD/タイ・ラコンシータマラート紹介 GSE訪問団



・次回のプログラム

9月28日（金）

「ゲスト講話」

会場 釧路全日空ホテル

担当：社会奉仕委員会



鐘

佐野会長

今週の会報担当：佐藤玄史会員